

響 光 新本社事務所を開設、移転 製販一体で競争力を向上!

2009年にレーザ業界のプラットフォームとして設立した(株)光響(こーきょう)は、開発力の強化と事業拡大を図るため、3月3日に本社事務所を移転した。

同社は、ファイバーレーザーや超短パルスレーザー技術等の研究開発から、レーザ

クリナー・レーザ溶接機・レーザマーカ等の販売・レンタル、サブスク、レーザ光学関連のセミナー、ニュースサイト運営等の事業を幅広く手掛けており、2022年7月には東京証券取引所が運営する「TOKEY OPRO Market」に上場を果たすなど、設立

以来、業績は右肩上がりに推移している。

しかし、これまでの京都市中心部にある本社事務所と、研究開発拠点がある京大桂Vラボは距離的に若干離れており、オフィスも手狭で更なる開発力強化と事業拡大を図るのが難しかった。

本社新事務所外観



広々とした事務所スペース



新たに開設した本社新事務所(京都市伏見区竹田西段川原町131番、0070-6925-5558)は、敷地面積約865㎡内には鉄骨造2階建て(延床面積810㎡)で建設。旧事務所と比べて広さを約2倍に拡張し、1階に研究実験施設(精密加工ラボ、検査・組立ラボ、熱加工ラボ)と在庫保管庫、2階に事務所スペースと会議室、応接室、休憩室を設置。本社機能と研究開発機能を一体型とし、従業員50名が常駐でき

る体制を整えた。交通アクセスは、地下鉄烏丸線/近鉄京都線「竹田駅」下車、2番出口から徒歩7分と利便性に優れ、自動車でのアクセスも名神高速道路・京都市南インターチェンジ出口すぐの好立地にある。事務所前には駐車スペースを完備し、既にも多くの取引先企業が来訪している。

また、事務所前に負荷容量の大きいキュービクル(高圧受電設備)を設置し、複数のレーザ加工設備を同時に動かしても対応が可能。1階には搬入・搬出に便利な大型シャッターを設け、自社製作したハンディ

式ファイバーレーザー溶接機やフェムト秒レーザ加工機等の入出荷も容易とした。

1・2階ともセミナー開催が可能な講習スペースを確保する一方、同社が運営するレーザ・光学の動画学習サービス「Opti

Video」会員向け動画配信講習等も定期的に開催している。「Opti Video」は、約1年前に事業を立ち上げたが、動画配信数は既に500件を超えており、初心者向けの「新人研修セミナー」や「安全教育セミナー」から、レーザ加工や接合分野を専攻する大学教授を招いた専門セミナーまで開催し、各方面から好評を博している。

同社・住村和彦社長は、「世界のレーザ市場は年率10%近い成長率で順調に拡大している。CWファイバーレーザーを光源とする光子コンピュータの実用化が期待される一方、デバイス製造プロセス向け半導体レーザの需要も拡大している。当社では、2018年か



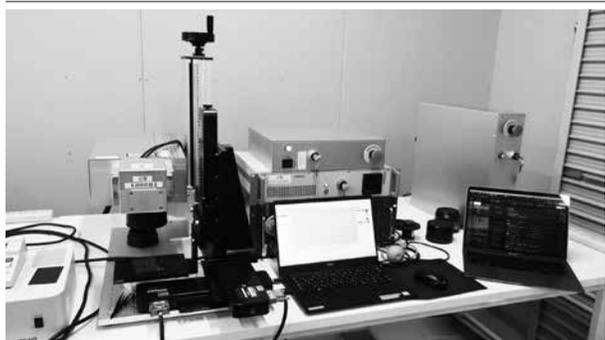
3波長の超短パルスレーザーが出せる加工研究用の超高精密フェムト秒レーザー加工機も生産

ら自社製レーザクリナーを販売しているが、国内No.1となる250件以上の販売実績を収めている。工業用レーザマーカも波長別にUVレーザー、グリーンレーザー、ファイバーレーザー、CO₂レーザーの全4種類を取り揃え、お客様の要望に応じてサンプル実証等に対応している。また、トーチの放熱性と冷却効果に優れた空冷型ハンディ式レーザー溶接機も開発し、昨年より販売を開始し、大きな反響を呼んでいる。

この他、自社製フェムト秒レーザー光源とサブミクロン分解能ステージで構成した超高精密フェムト秒レーザ加工機を生産しているのも強みであり、各種実証やテスト加工にお応えしている。

このように様々な製品・サービスを展開しており、前年度12月期決算の売上高は前期比22・4%アップの14億5千万円を計上した。今期は売上規模20億円の達成を目標としており、本社事務所の研究開発機能を十分に活用して事業の拡大に努めて参りたい」と抱負を語った。

レーザマーカのテスト加工設備等が充実



Opti Video」会員向け動画配信講習等も定期的に開催している。「Opti Video」は、約1年前に事業を立ち上げたが、動画配信数は既に500件を超えており、初心者向けの「新人研修セミナー」や「安全教育セミナー」から、レーザ加工や接合分野を専攻する大学教授を招いた専門セミナーまで開催し、各方面から好評を博している。